



「中学部販売会」・「たけよう祭」を終えて

教頭 鎌田 志穂

昨年度に続き雪による中止が心配された「中学部販売会」でしたが、1月24日、降り積もる雪の中で無事に実施されました。翌1月25日には「たけよう祭」があり、今年度は小・中学部の児童生徒と保護者も参加することができました。久しぶりに規模を戻した実施となり、盛況でした。たくさんの御協力ありがとうございました。

販売した製品は、「作業学習」の時間に製作した物です。木工や窯業、園芸・農作業、紙工、縫製等様々な班があります。基本的には、毎年違う班に所属し、一人一人役割をもっていろいろな製品を作っていきます。販売でも生徒は一人一人役割をもちます。かごを渡す係、案内係、呼び込みや挨拶係、説明係、品出し係、会計係、袋詰め係、手渡す係等、みんな自分の役割を頑張りました。終了後、売り上げの計算や振り返り等をして達成感・成就感を味わいました。中学部では、少額ながら全員に「給料」が支給され、それで購入した製品等を持ち帰りました。

中学部・高等部の作業学習では、働くことの意義や社会とのつながりを知り、生産活動や販売活動を通して、働く喜びややりがいを感じながら働く意欲を高めていきます。そして、自分の役割に責任をもち、他者と協力して作業をし、職業的自立に向け必要な力を身に付けていきます。生徒たちの多くが作業学習や販売活動が好きです。小学部の児童も販売会に参加し、50円の製品を探して見比べて選んだりお金のやりとりをしたりしました。この姿が、中学部、高等部へとつながっていきます。中学部・高等部のみなさんをとてめたのもしく感じました。お疲れ様でした。

〈 小 学 部 〉



小学部を卒業する13人の皆さん、御卒業おめでとうございます。

あなたたちが過ごした6年間のうち、半分の年月を一緒に過ごすことができました。小さくてかわかった皆さんが大きくなって、できることを少しずつ増やし、どんどん成長していく姿を間近でたくさん見ることができました。たくさんの日々を過ごしてきたからこそ、涙も流して歯を食いしばって過ごしたこともありましたね。だけどそれ以上に毎日、笑顔になることが多かったように思います。鹿児島南特別支援学校に半分くらいの同級生が転校してしまい、一番少ない学年になってしまいましたが、少人数を感じさせないパワフルさがありました。楽しい時間をありがとう。中学部になっても、

個性と 自由と 誰にもできない力強さで
はみ出していく。
羽ばたいていく。
駆け出していく。
夢と希望と可能性を持つ
新しいタイプの学校のリーダーたち！
卒業おめでとう！



(小学部第6学年主任 藤尾 友香)

〈 中 学 部 〉



令和5年11月 修学旅行「熊本城」

中学部を卒業する30人の皆さん、御卒業おめでとうございます。

三年間を振り返ってみると、コロナ禍の中学部入学で、1年生のときはまだ行動を制限されながらの学習でした。次第に行動制限が緩和され、2年生のときは、9月の台風が過ぎ去った後に南薩少年自然の家に宿泊学習に行くことができました。カヌー体験やフォトアドベンチャーなどを行ったり、入浴や就寝などをしたりするなど、友達と一緒に楽しい貴重な時間を過ごすことができました。11月の学習発表会や12月の長距離走大会などは、保護者の方々から御声援や激励、称賛などをいただき、生徒の皆さんは学習の成果を発揮でき、安心や満足したうれしそうな表情でした。3年生のときは、11月下旬の寒い中でしたが、熊本城やグリーンランドなどへ2泊3日の修学旅行に行き、計画をした以上に活動し、楽しい思い出を作ることができたことでしょう。1月の販売会は雪が降る寒い中でしたが、3年間で初めて実施でき、多くの保護者の方々に商品を購入していただき、生徒の皆さんが丁寧な接客や会計などを行い、保護者の方々に大変喜んでいただきました。

コロナの苦しい時期があり、「武養」から「武特(たけとく)」に変わりました。皆さんは、これからも苦難を乗り越え、そして新しい高等部というステージで活躍してください。いつも皆さんを支えてくださった保護者の方々に感謝の気持ちを伝えたり、これからも友達と助け合ったりして、自分の夢や目標に向かって進んでいってください。

(中学部第3学年主任 別府 博昭)

〈 高 等 部 〉

高等部を卒業する24人の皆さん、御卒業おめでとうございます。

高等部に入学したときは40人の仲間と一緒に。みんなで運動会や学習発表会、たけよう祭など様々な行事を経験する中で、時にはぶつかりながらも全員で一つの目標に向かうことの大切さを学ぶことができました。3年生になると半数の友達が鹿児島南特別支援学校に行き、少し寂しい思いもしました。そんな中でも、高等部3年生では「ホップ・ステップ・ジャンプ!」を学年テーマに、卒業後の生活に向けて、友達と協力しながら様々なことに挑戦することができました。産業現場等における実習では、一人一人が自分の進路について真剣に考え、全力で取り組んだことで大きく成長することができました。また、学習発表会での合唱「ありがとう」では、これまで支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを精一杯表現することができました。



いよいよ12年間続いた学校生活から卒業し、「社会人」として生きていくこととなります。人生の第2ステージで、長い道のりが始まります。いつでも「自分らしく」、「なりたい自分」に向かって精一杯頑張ってください。そして、今まで支えてくれた家族、これまで出会った人たち、また、これから出会う人たちへの「ありがとう」の

気持ちを大切にしてください。私たちはいつでも24人のサポーターです。一人一人が素晴らしい人生を歩んでいくことを応援しています。頑張れ、3年生24人!

(高等部第3学年主任 前田 小百合)

